

# あいとぴあ

相原まちづくり協議会情報誌

2010年7月11日

発行 相原まちづくり協議会  
責任者 理事長 土田 恭義  
所在地 町田市相原町 597-56  
電話 042(774)2982  
印刷 木村印刷社

## 町田市初の小中一貫校開設にむけて

町田市では、1998年の「町田市立学校の適正規模適正配置等について(答申)」を受け、児童・生徒数が年々減少し続けている大戸小・武蔵岡中学校を、町田市初の活力ある合同校舎型小中一貫校として、2012年4月開校に向けて2007年度から精力的に準備を進めています。

2008年7月から2010年3月にかけて延べ11回にわたって(仮称)「町田市立大戸・武蔵岡合同校舎型小中一貫校の在り方検討委員会」を開催し、同校の在り方について検討を行ってきました。検討委員会には、地域関係者の方々が多数参加され、「小中一貫校は地域の長年の願いであった。子どもたちが集まってくるような魅力的な学校になってほしい。学校を核にして地域が活性化するとうれしい」といった熱い思いが語られ、あらためて地域の願いに応える小中一貫校づくりが強く望まれていると受け止めています。

を積極的に活用する取組みを通して、基礎学力の向上や定着に努め、一貫校を地域住民や保護者から信頼される学校にしていくことが大切であると考えています。

### その2～ 地域協働の学校(スクールボード校)

町田市教育委員会が今後進めようとしている「地域協働の学校(スクールボード)」づくりを小中一貫校として推進します。具体的には、地域関係者による教育活動の支援や評価を積極的に取り入れ、地域のニーズに応え地域に開かれた学校づくりを進めます。2010年度においては、スクールボード設置モデル校として活動し、小中一貫校開校後には合同スクールボード校となります。一方、地域には「人・街・夢ネットワーク」といった団体が発足しており、小中一環校化に伴う諸課題を検討するなど、地域協働の学校(スクールボード校)づくりを支える組織・人材として期待されています。他の組織としては、小中PTA組織の合同化も予定されています。

### その3～ 地域への施設開放重点校

地域に開かれた学校づくりの推進の一つとして、学校施設を地域に積極的に開放するという考え方があります。

地域の人々が学校を身近に感じながら学校施設を活用することは、地域の人々による積極的な教育活動への参加・参画に発展する可能性が広がり、施設の有効活用や未使用施設部分の管理面などからも効果的です。

### 地域連携の方向性と取組みは？

#### その1～ 大学等との連携

町田市西部地域には法政大学及び東京家政学院大学が、また比較的近距离に桜美林大学、青山学院大学が存在します。大学も有効かつ貴重な教育資源の一つです。大学との連携を一層進め、放課後の居場所づくり、遊び場づくり、学習活動支援、部活動支援に学生等のボランティア参加を積極的に進めていく予定です。一方、参加する学生にとっても、参加することによってプラスとなるような制度の検討も必要です。また、大学だけでなく、近隣小学校、地域の幼稚園・保育園との連携強化を図るとともに、地域の「学びの拠点づくり」を目指していくことが重要と考えます。

2ページへつづく



### 合同校舎型小中一貫校とは？

合同校舎型小中一貫校とは、「小・中学生の普通教室と小・中学校の職員室を同一校舎に配置することにより、小・中学生の交流による教育活動の充実と小・中学校の教職員の連携・協力による指導の充実を図ることを通して、小・中学校の教育の一貫性を強化するための学校形態」です。

### 小中一貫校のねらいは？

#### その1～ 少人数による基礎学力向上校

余裕教室を生かし、少人数による基礎学力向上のための取組みを積極的に推進します。例えば、少人数指導のための教室を十分に確保し、1学級2展開などの授業形態や方法などの工夫改善を図ります。また、大学生や地域住民などの指導補助者

## その2～ 地域の人材の活用

地域には豊かな森林、里山といった貴重な財産に加え、地域が誇る文化や伝統もあります。一方、特例民法法人「相原保善会」をはじめ、児童・生徒に生きた生活の知恵を指導してもらえる地域人材もそろっています。このような地域人材を活用した、具体的には地元の竹材による竹炭焼き体験や、里山遊びといった課外活動も可能であり、技術家庭科では間伐材を利用した授業なども検討しています。さらに、地域の森林をこのような自然体験や環境教育に役立つ学校林のような形で利用

### 相原まちづくり協議会新理事長に土田恭義氏が選出されました

私達、相原まちづくり協議会は、前身の「明日の相原を考える会」から数えて今年で27年目を迎えます。ご承知の通り、近年相原町は、諸先輩方のご尽力によりまして、駅舎の橋上化、相原中央公園の建設、子供センター「ぱお」の建設など、住環境の向上に向けて、1歩ずつではありますが、着実に生まれ変わりつつあります。当協議会では今後とも、各町会・自治会から選出された理事を中心



に、「住みよい街」、「安心安全な街」、「緑豊かな街」を目指し、相原連合町内会をはじめとする各種団体とも連携を深めながら、道路交通網・インフラ整備、地域産業の活性化、防災対策、さらには歴史・文化財の掘り起こしなど、地域に密着した活動に取り組んでいく所存です。また、本誌「あいとびあ」は当協議会が発行する、地域では数少ない相原町全戸配布の広報誌として、身近でホットな情報をタイムリーに発信してまいります。今後とも「『まちづくり』は『ひとづくり』」をモットーに、人と人とのふれあいを大切に活動してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いたします。

することも考えられます。併せて、かつて里山遊びを通して、生活の知恵を学んだ経験を持つ地域の人たちと、経験のない世代とが、世代を超えて交流し、児童・生徒もこれに参加することで、地域の活性化につながることも期待できます。このように小中一貫校を「魅力的で、保護者が子どもをこの学校に入学させたい」と思うような地域の学校にしていくためには、町田西部地域の学校間の連携も含めた地域連携が重要であるという認識に立ち、今後も地域連携の取組みを進めていきたいと考えています。

文・中村伊佐夫氏

に、「住みよい街」、「安心安全な街」、「緑豊かな街」を目指し、相原連合町内会をはじめとする各種団体とも連携を深めながら、道路交通網・インフラ整備、地域産業の活性化、防災対策、さらには歴史・文化財の掘り起こしなど、地域に密着した活動に取り組んでいく所存です。また、本誌「あいとびあ」は当協議会が発行する、地域では数少ない相原町全戸配布の広報誌として、身近でホットな情報をタイムリーに発信してまいります。今後とも「『まちづくり』は『ひとづくり』」をモットーに、人と人とのふれあいを大切に活動してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いたします。

#### 平成22年度相原まちづくり協議会役員名

|      |             |           |
|------|-------------|-----------|
| 境    | 篠崎 秀秋       | 金子 保之     |
| 坂下   | 平野 功二       | 久保田貞夫     |
| 元橋   | 土田 恭義(理事長)  | 竹牟礼 謙一    |
| 仲町   | 諏訪 賢一(副理事長) | 萩原 康義     |
| 陽田   | 原 弘明        | 峰尾 秀雄     |
| 中村   | 小林 洋(総務)    | 青木真喜子(会計) |
| 丸山   | 巢山 実        | 大島 正久     |
| 丸山団地 | 守屋 松則(副理事長) | 亀田 信行     |
| 中相原  | 古谷 雄二(総務)   | 吉川 昱      |
| 武蔵岡  | 平山 富士夫      | 井上 通泰     |
| 大戸   | 佐藤 豪        | 前田 慶司     |
|      | 杉崎 太吉(監査)   | 吉野 蔵弘(監査) |

#### 平成22年度相原地区連合内会役員名

|       |        |        |
|-------|--------|--------|
| 会長    | 中村会長   | 横溝 廣喜  |
| 会長代行  | 丸山会長   | 木下 正秋  |
| 副会長会計 | 境会長    | 金子 保之  |
| 副会長会計 | 武蔵岡会長  | 渡代 真知子 |
| 副会長監査 | 中相原会長  | 吉野 蔵弘  |
| 副会長監査 | 仲町会長   | 中島 清   |
| 副会長庶務 | 元橋会長   | 安田 浄   |
| 副会長庶務 | 坂下会長   | 溝口 浩   |
| 副会長庶務 | 陽田会長   | 小山 豊   |
| 副会長庶務 | 丸山団地会長 | 小林 芳彦  |
| 副会長庶務 | 大戸会長   | 田中 記一  |

### 消防団ポンプ操法大会開かれる

町田市消防団第五分団第30回消防ポンプ操法大会が6月13日相原中央公園で開かれました。町田市消防団第五分団は小山相原地区の住民の生命財産を災害から守る重大な任務を果たしています。ポンプ操法は消防活動の基礎であり、この大会は平素の訓練成果を発揮するため技を競うものです。入賞は優勝が第5部(相原地区)準優勝は第4部(小山地区)3位が第4部(相原地区)でした。

#### 夏祭りスケジュール

|              |         |
|--------------|---------|
| 7月18日(日)     | 丸山 仲町   |
| 7月23・24日(金土) | 武蔵岡     |
| 7月24日(土)     | 坂下 丸山団地 |
| 7月30・31日(金土) | 大戸      |
| 7月31日(土)     | 境 陽田    |
| 8月7日(土)      | 中村 元橋   |
| 8月21日(土)     | 中相原     |

#### その他の行事

|            |            |
|------------|------------|
| 7月3・4日(土日) | 堺市民センター祭り  |
| 8月15日(日)   | 諏訪神社礼大祭    |
| 8月28日(土)   | 大地沢センター祭り  |
| 10月10日(日)  | 相原フェスタ2010 |

## 「ほぜんかい」を知っていますか

相原町に住むと「ほぜんかい」という単語を耳にすることがあります。現在の正式名称は特例民法法人「相原保善会」です。少し前まで財団法人でしたが、もうすぐ一般財団法人相原保善会になります。法律の改正により右往左往しています。さて当財団は国内でも数少ない地域社会の住民だけで



保善会の会館

構成されたもので、地域住民のための公共福祉を主目的とした助成型の財団です。相原保善会は明治のはじめ大地沢・七国・御殿等に合計2

9町歩の秣場（草刈場・地域の共有林）がありました。その共有林が昭和30年に相原財産区として区管理会を設置、管理運営をしていましたが、昭和33年町村合併による町田市発足後も財産区管理会のみでした。昭和43年7月市庁舎建設資金として寄付するため町田市長と協定締結し、殿丸・和田内7町歩の土地を売却し庁舎建設費8億円のうち3億1千万円を寄付しました。そのときの記念像が市庁舎庭園に設置されている彫像『旦（あした）』です。相原保善会が財団法人として設立され、相原地区に住む人々の公共の福祉のために、この財産を基礎に活用することになりました。相原地域の事業として9町会会館建設費補助・公共福祉のための各種団体約60団体に助成金配布等から事業開始され、幼稚園の運営と学校

法人化、大地沢青少年センター用地を市に賃貸等を中心に活動してまいりました。明治初の325名の人々の共有財産が110年後の未だに恩恵を保ってきたことを諸先輩の高邁な叡智とご高配に感謝いたしております。現在の資金運営は土地賃貸料・市よりの受託作業・預金・国債の利子等により運営されています。低金利と公共予算の低下により赤字運営も余儀なくなってまいりますので、今後の効果的運用が大事になっています。例年8月の大地沢センター祭り、9月に相原保善会高齢者福祉大会、11月の老人会や各団体参加の輪投げ大会も盛んになってきました。これからの相原保善会の主な活動は、大地沢他、相原地域の緑環境保全、子供から高齢者までの団体活動援助・相原連合町会など全地域的な活動のお手伝い等を積極的にやっています。各地域に財団の役員がいます。相談質問など声をかけてください。

参考・・・ 相原保善会の歴史・内容等は「相原保善会沿革史」「明治大正の頃の相原」「子に伝えたい相原」「ほぜんかい」1・2・3等財団発行の資料が財団事務所に展示しています。

理事長 島崎郁也



彫像『旦』

## 花の町相原 “ 会員募集 ”

花の町相原推進委員会は相原地域を花で飾る「花いっぱい運動」を、相原連合町内会・各町内会・相原まちづくり協議会・相原保善会のご支援を頂き、9年目に入りました。春の花・秋の花を6箇所の花壇に咲かせ、道行く方々に見ていただいております。これからも沢山花を咲かせ、相原町を明るく美しい街にする活動を続けています。



この活動を更に充実させるため、「花の町相原」の活動にご賛同され、活動していただける会員を募集しております。詳しくは推進委員までお尋ねください。花の町の主たる活動 町田街道周辺の花壇管理（相原三叉路・堺市民センター前・諏訪神社入口・相原駅西口・中村公会堂隣・武蔵岡団地内）

地域イベントへの参加 寄せ植え講習会実施近隣および近県の花見学会などです。

### お問合せ先

|      |              |
|------|--------------|
| 境    | 八木 772-0078  |
| 坂下   | 進藤 773-0553  |
| 元橋   | 小野寺 772-9722 |
| 陽田   | 照井 773-5295  |
| 中村   | 札元 771-4760  |
| 丸山団地 | 伊藤 773-8873  |
| 丸山   | 齋藤 771-8712  |
| 中相原  | 中村 774-1164  |
| 武蔵岡  | 柘植 782-7617  |

## アグリハウスが新しくなりました

農産物直売をしている JA 町田堺支所のアグリハウスは支所の改築と同時に移転し、2010年4月に新装開店しました。以前は町田街道を挟んで両側に分かれており、農協とアグリハウスの利用が不便でしたが、1ヶ所にまとまり、また南側に面して明るい売り場になりました。

ここでは支所の野菜部会の16人のエコファーマーが提供する安心安全作物を中心に販売しています。エコファーマーは減農薬・減化学肥料を中心に環境にやさしい農業に取り組み都知事の認可を受けている農家です。販売されている野菜には生産者の顔写真が紹介されています。

また、イベントとして春、秋には苗市や収穫祭を開催しており、農家から家庭菜園まで幅広く良い苗や農業資材を提供しています。

この地区でも農家は減少していますが、地域特性



を生かした特徴のある商品の創出と販売を目指した活動を支援しながら地域に溶け込み愛される場を作っていくことを目標にしています。

## 相原遺産 籌国山長福寺（曹洞宗）



丸山地区の<sup>じゅこくさんちやうふくじ</sup>籌国山長福寺は1625年に開山し、1812年に現住所に移転しました。また1842年には本堂が改修されています。本堂の格天井には、江戸の狩野派の絵師長谷川雪堤によって桜・水仙・アジサイなどの草花が35枚描かれています。また山門の扉の「竹林の7賢人」や文殊堂前柱の登り竜下り竜等優れた彫り物が見られます。この本堂格天井花丸絵画、山門・文殊堂は町田市の文化財に指定されています。

また明治5年(1872年)に学制が公布され、国民のすべてが初等教育を受けることが定められ、

相原村では2年後の明治7年にこの長福寺に相原学校が創設されました。同年円林寺には大戸学校も創設されています。他にも横穴式の井戸や江戸城大奥姫君たちの墓塔や1812年記年銘水鉢など文化的な遺産が数多く見られます。文殊堂の左手奥からは遠くに富士山を眺めることができ、津久井の山々や相模平野が見渡せその眺望は絶景です。なお天井絵画の拝観は土日祝日を除き電話で予約を入れておけば可能です。

長福寺の電話番号は042-772-2968



